



母六報たるい

出来栄えはどうか？
(親子陶芸作品つくり)

1994
9月**1**日号
No. 456

真夏日が45日間 とにかく暑かった今年の夏



枯れかけた街路樹に
水を与える町臨時職員

昨年の冷夏から、一転して猛暑に見舞われた日本列島。

全国の約3分の1の観測点で、史上最高気温が塗り替えられるなど、記録ラッシュの夏となりました。

また、水不足による一時断水（時間給水）を、全国で約160市町村が実施。約535万人が影響を受けました。

暑さと水不足による我慢ガマンの夏となりました。

垂井町の最高気温は 37.5度

垂井町の観測点（東消防署）で記録された今年の最高気温は、8月7・8日の両日に記録された37.5度。

過去3年間で、平成4年8月10日に記録されて以来の記

録となりました。

最高気温が30度以上の真夏日は、7月20日～8月12日の連続24日間をはじめ、7月で27日間、8月で18日間。

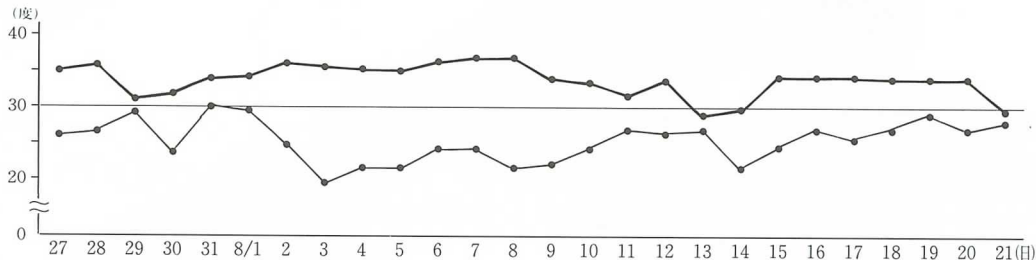
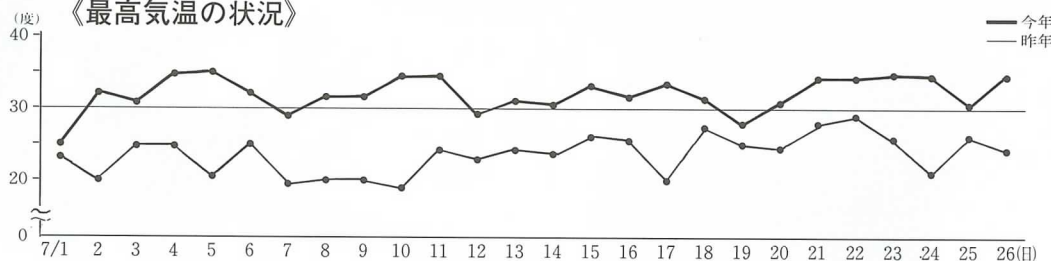
7月の平均最高気温は32.1度（去年は24.1度）で、8月は33.6度（去年は25.8度）でした。

最低気温が25度以下に下がらない熱帯夜は、7月で2日間、8月で7日間ありました。

また、雨量では、7月が7日間で31^{ミリ}（去年は533.5^{ミリ}）で、8月が3日間で58.5^{ミリ}（去年は374.5^{ミリ}）でした。

▶ 数値はすべて、8月21日現在のものです。

《最高気温の状況》



▶ 干上がったしまった相川（表佐地区地蔵橋付近）
8月4日撮影

暑さに負けず 子どもたちのそれぞれの夏

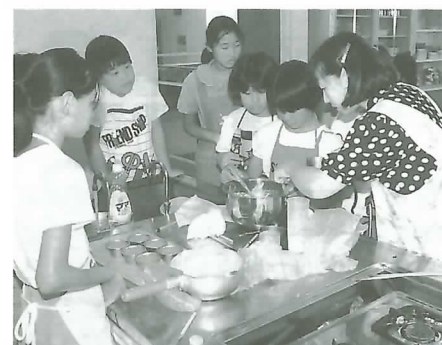


◀親子発掘体験教室

8月8日、10日
美濃国府跡発掘現場

5組12人の親子が参加し、古代ロマンに胸を躍らせながら、郷土の歴史を掘り起こしました。

子どもは、土の中の宝物探しを楽しむかのように、夢中になって掘っていました。



◀ワールドクッキング教室

7月29日～31日
勤労青少年ホーム

小・中学生64人が参加し、中華料理やブラジル料理づくりに挑戦。料理を作る楽しさと食べる楽しさを感じとりました。

沢のぼりチビ子講座▶

8月3日 大滝川

小学校5・6年生男女16人が参加し、青羅公園付近から不破の滝までの延長約1.6キロの沢のぼりに挑戦。約2時間かけて踏破しました。



◀文化財史跡巡り

7月26日 表佐・栗原地区

小学校5年生から中学校1年生までの10人が参加し、勝宮古墳、栗原九十九坊跡など、町指定史跡を中心に7か所回りました。

クラフト教室▶

8月2日 青羅公園

小・中学生9人が参加し、身近な廃材を利用して、ティッシュボックスなどアイデアいっぱいの作品づくりに取り組みました。



◀水泳教室

8月1日～5日
朝倉町民プール

小学校1・2年生の泳げない子60人が参加。地区別に3コースに分かれて実施され、上達の速い子は5日間で泳げるようになりました。



わがまち 水いこい

自分の将来を 真剣に考えよう

～ 職場実習～

北中学校の3年生・124人が8月8・9日、保育園や老人ホーム、製造工場など町内32か所で職場実習を行いました。

勉強だけでなく、社会人の仕事を体験し、将来の進路を考えさせるのがねらい。

岩手保育園では男子8人、女子9人が実習。園児と一緒に給食を食べたり、水遊びや泥んこ遊び

などをしたりしました。

泥んこ遊びでは、園児と泥をかけあったり、泥を体につけた園児を洗ったりと大活躍。

将来保母さんになりたいという女子生徒は「やさしい言葉遣いにしたり、けがをしないようにしたりと気を使います。でも、子どもが大好きなので楽しいです」と話してくれました。



▲ 園児と泥んこ遊びをする北中生徒

親子でお面を製作

～ 岩手小PTA陶芸作品づくり～

「親子陶芸作品づくり」に取り組んできた岩手小学校P

T A (栗田泰会長) は8月20日、火入れ式を同小西隣の休

耕田で行いました。

この火入れは、作品づくりの最終段階。6月に粘土で製作した約250個のお面が、児童ら約200人が見守る中、手作りのかまどで焼かれました。

21日には焼き上がったお面が取り出され、完成したお面は、11月の岩手地区文化祭に出品される予定です。

▶ 煙が上がるかまどに歓声を上げる児童



青年海外協力隊員の児玉さんが帰国

青年海外協力隊員として2年間、ネパールの首都カトマンズへ派遣されていた児玉恒子さん(岩手、33)が8月18日、帰国報告のため来庁されました。

児玉さんは、現地の子ども病院で、看護婦として小児看護活動に従事。

「言葉の面で苦労しましたが、外から日本医療の素晴らしさを再認識できました。今後には生かせる貴重な経験がで



◀ 田中町長と握手をする児玉さん(左)

きたと思います」と、笑顔で語ってくれました。

お元気ですか!! 保健センターです

☎ 22-1021

早めの健診 大きな安心

若くても あなどれない成人病

30歳代で乳がん死、40歳代で脳梗塞死など、成人病による死亡年齢が年々若年化の傾向にあり憂慮されます。

保健センターでは、2歳児教室、親と子の健康講座、園児のおやつ指導など、子どもたちを成人病予備軍にしないための母親への教育をはじめ、成人病予防食講習会、栄養教室、各種成人病予防教室などで、食事の見直し、運動の励行、生活改善を呼び掛け対処しています。

しかし何と言っても、健診を受けて自分の体の状態を正しく知り、悪い所は早目に治療することが基本です。

現在実施している「基本健康診査」は、満40歳以上の方が対象です。しかし自己健康管理をもっと若い時から行い、健診を受けるという習慣を身に付けていただくため、昨年より満35歳の方を対象にした

「節目健康診査」を実施しています。この健診は、町内の各医療機関で、身体測定・尿検査・血圧測定・理学的検査・血液検査（肝機能、脂質代謝、貧血、血糖、腎機能）を受けていただくものです。

昨年の節目健康診査の結果は表のとおりです。

目立つ脂質代謝異常 (高脂血症)

10年ごとに行われる厚生省の循環器疾患基礎調査によると、30歳代以上の10人に3人は血中コレステロールが高く、

動脈硬化の危険にさらされていると言われていました。

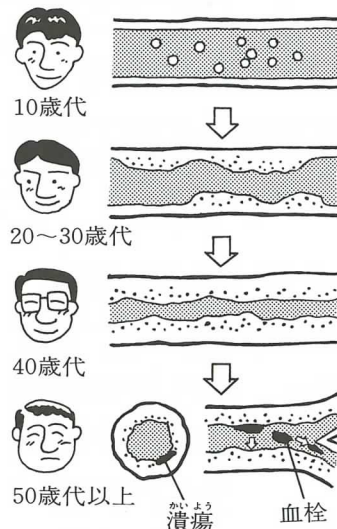
垂井町においても、節目健康診査の結果からわかるように、異常のあった方の半数近くが脂質代謝異常（高脂血症）です。学童期の子どもにも動脈硬化の原因となる肥満や高脂血症が増えており、今後それによる成人病がまん延するのではないかと危ぶまれます。

動脈硬化は生活習慣、特に食生活を正すことでかなり進行を抑えることができますので、早い対処が望まれます。

昨年の節目健康診査結果から

対象者 174人、受診者 59人 (男性12人、女性47人)	受診率 34%
判定結果	太りすぎ・太りすぎみ 21%
異常なし 31人 (52%)	その他 29%
要観察 17人 (29%)	要医療の内訳(複数)
要指導 7人 (12%)	脂質代謝異常 50%
要医療 4人 (7%)	血圧 25%
要観察・要指導の内訳(複数)	肝機能 25%
脂質代謝異常 42%	その他 25%
貧血 21%	

動脈硬化の進み方



- 血中コレステロールが増え、動脈硬化の下地ができる
- 脂肪斑はんができる
- 線維斑はんができる
- 潰瘍かいようができる
- 血栓けっせんができる

早期発見は 早期対処・早期治療

健診を受けられない方に「なぜ受診されないのですか」とお聞きすると、よく「結果が怖くてね」とおっしゃいます。しかしよく考えてみてください。悪い所を知らずに放っておくとどんなことになるでしょう。自覚症状がなく、長年の生活習慣を容易に変えることができないことから、気が付いた時には重大な成人病にかかっていたということにもなりかねませんね。“転ばぬ先の杖”早く見つければそれだけ早く改善方法がはっきり

し、必要ならば医師の診察も早く受けられるのです。

今年の節目健康診査

対象者 昭和33年4月1日から昭和34年3月31日までに生まれた方

健診期間 10月1日から31日まで

健診場所 町内各医療機関
健診料 無料

対象の方には、おはがきで9月中旬に通知しますが、何らかの都合で届かない場合は保健センターへお尋ねの上、お申し込みください。

進んで受診し、大きな安心を獲得してください。

10月1日から 黒い袋は収集しません

10月1日から燃えるごみを出す場合には、町指定のごみ袋を使用してください。黒い不透明な袋で出されたごみは収集しません。皆さんのご協力をお願いします。

粗大ごみの収集日程

地 区	収 集 日
表佐・綾戸・事業団宿舎・東駒引	9月26日(月)
垂井(南宮参道以東)	9月27日(火)
府中・岩手・平尾	9月28日(水)
垂井(南宮参道以西)・ユニチカ社宅 ユニチカパナタウン	9月29日(木)
宮代・栗原・神田(東海道線以南)	9月30日(金)

注意事項

- ☆ この一週間は、アルミ缶、スチール缶、不燃物は収集しません。ご注意ください。
- ☆ エアコン、冷蔵庫などのモーターは、必ず取りはず

してください。

- ☆ タイヤ、バッテリー、バイク、農機具などは収集しません。
- 問い合わせ先 厚生課環境衛生係 (内線249)

花フェスタ'95

前売入場券好評発売中!!

	普通入場券	パスポート
大人	1,000円 (1,200円)	3,000円
高校生 シルバー	600円 (800円)	2,000円
小中学生	400円 (600円)	1,500円

()当日券

9月1日は「防災の日」 防災訓練に 参加しましょう

と き 9月4日(日)早朝
と ころ 岩手地内

いざという時に、落ち着いて行動するためには、ふだんからの備えが大切です。

家族ぐるみで訓練に参加しましょう。

ふだんの備え5か条

- ▶物が上から落ちてこないようにする
- ▶家具類が倒れないように固定する
- ▶火事を起こさないために、消火器の準備をする
- ▶非常用持ち出し袋を用意する
- ▶“家族防災会議”を開くようにする

地震の心得

- ▶まず、わが身の安全を図る
- ▶素早く火の始末を
- ▶非常脱出口を確保する
- ▶火が出たら、まず消火
- ▶慌てて外に飛び出さない
- ▶狭い路地や塀際、がけや川べりに近寄らないように
- ▶山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する

10月1～7日は全国道路標識週間

県では、この期間、道路標識を一層利用しやすいものにするため、点検や見直しを行います。

ふだん車を運転していて、標識についてお気付きの点やアイデアがありましたら、お気軽に次のところまでお知らせください。

してください。

- 中部地標識BOX係(〒460 名古屋市中区三の丸2-5-1)
- 岐阜県警察本部標識BOX係(〒500 岐阜市藪田南2-1-1)
- 岐阜県庁標識BOX係(〒500 岐阜市藪田南2-1-1)



ったら——これらは決して将来のことではありません。

今の生活を守るためにも、保険料を納めることが大切なのです。

また、基礎年金制度は、現役世代の保険料で高齢世代の年金給付を賄うという世代間の扶養のしくみをとっていますので、20～60歳のすべての人は、保険料を納付することが義務付けられています。

これは、単に自営業の人だけに限らず、サラリーマンもそれぞれの加入制度から国民年金に拠出して、基礎年金を支えることが義務付けられているのです。

このように、自分の意志だけで加入の是非を決定することはできません。国民年金に加入することは、国民の義務であることをご理解ください。

問 将来のことより現在の生活を充実させたいので、老後のことまで考える余裕がないのですが……。

答 国民年金の年金給付には、老齢基礎年金のほか、障害基礎年金、遺族基礎年金、寡婦年金があります。あなたが不測の事故で障害者になり働けなくなったら、あるいは夫に先立たれて18歳未満の子と生活するようにな

「国の教育ローン」のご案内

国民金融公庫では、年間を通して「国の教育ローン」を取り扱っています。

ますます増える教育関係費用の負担の軽減のため、「国の教育ローン」をご利用ください。

対象者 高校、短大、大学、専修学校、各種学校などに進学または在学される方の保護者

融資金額 学生・生徒1人に

つき150万円以内
期 間 8年以内
利 率 年4.4%
保 証 教育資金融資保証基金（保証料が必要）または保証人1名以上
償 還 毎月元利均等返済（ボーナス時増額返済あり）
問い合わせ先 国民金融公庫 岐阜支店（岐阜市千石町2の22、☎0582-63-2136）

自治大臣への 提案ファックスを設置

自治省では、広く国民の皆さんから、地方行政に対する自治大臣への積極的な提言をいただくため、「自治大臣への提案ファックス」一ふるさとファックス—を設置しました。

国民からの意見を直接聴く試みは、国民の声を行政に反映させるためにも意義深いものと考えられますので、積極的な提言をお願いします。

ファックス名称 「自治大臣への提案ファックス」一ふるさとファックス—
ファックス番号 03-3581-6987

受付時間 午前9時～午後6時（土、日、祭日を除く）
問い合わせ先 自治大臣官房 広報室広報係（☎03-3591-0279（直））

その他 できれば、住所、氏名、電話番号をご記入ください。

寝たきり予防シリーズ

暮らしの中でのリハビリは 食事と排泄^{せつ}、着替えから

病院などにおける機能訓練で回復した機能を、家庭へ帰ってきても低下させないようにしたいものです。

そのためには、朝起きてから夜寝るまでの日常生活での動作を、リハビリと考えて応用することが大切です。

食事、排泄、着替えなどの基本的な動作を、体を動かせる範囲で、元気な時と同じように自力で行うように心掛け

ることがリハビリになるのです。これを「生活リハビリテーション」といいます。

家庭内でちょっとした工夫をすることによって、意外と身の回りのことが自分でできるようになるものです。

昨日よりも今日、今日よりも明日へ、一つ一つ行って身体機能のレベルアップに努めましょう。

ご存じですか！ 暴追センター

暴力団などで、困ったり泣いたりしていませんか？

暴力団対策法ができて、暴力団は、警察への届け出や暴追センターへの相談を一番恐れています。

泣き寝入りしない勇気が、あなたを守るのです。

暴追センターは、暴力に困



っている人のあらゆる暴力相談に応じています。

（財）岐阜県暴力追放推進センター

岐阜市長住町2-3 岐阜ビル5階
フリーダイヤル（料金無料）
(0120) 037-214
☎ 0582-64-1613

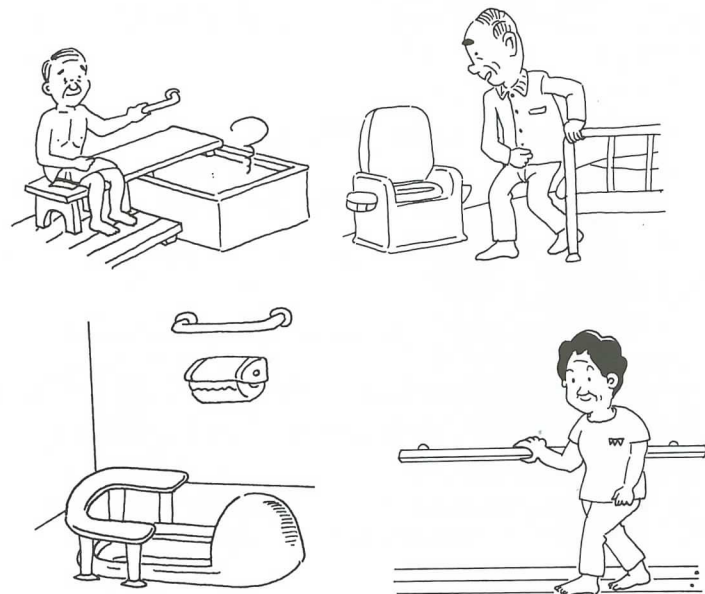
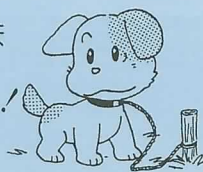


相談無料
秘密厳守

犬はマナーを守って

飼いま

しょう!





たくましく育てて タライピアセンター

ちょっぴり甘えん坊で、とても活発な裕紀くん。保育園が大好きで、いつも友だちと仲よく遊んでいます。今は自転車で走り回ることやポンキッキに夢中とか。「健康で、心豊かな思いやりのある子に育ってもらいたい」とお母さんの里美さん。

府中・府中第7
城野裕紀くん(4歳)
(和博さんの長男)

お誕生

(住所)	(保護者)	(赤ちゃん)	(続柄)
府中	小寺昇治	榛香	長女
楠田	久世康正	雅和	長男
岩手	児玉和靖	楓	長女
府中	藤墳誠次	舞	長女
垂井	宮田弘二	美佳	三女
宮代	藤塚浩克	公平	二男
宮代	佐々木輝隆	晴香	長女
垂井	榎本敏明	哲也	長男
岩手	北澤恒人	佑太郎	長男
綾戸	羽賀重久	阿惟	三男



おくやみ

(住所) (氏名) (年齢)

宮代	植田	キエ	58歳
平尾	田村	輝男	64歳
垂井	廣瀬	千代	80歳
岩手	高木	房江	87歳
表佐	富田	金尾	63歳
府中	須田	万平	70歳
岩手	濱本	由美子	51歳
垂井	飯尾	敏恵	57歳
垂井	保科	ヨシ	95歳
垂井	田中	富美子	58歳
綾戸	山本	よしい	82歳
表佐	小川	喜代	73歳
梅谷	衣斐	せし子	73歳

9月9日は「救急の日」

救急の日は、救急医療や救急業務について皆さんに、より正しい理解と認識を深めていただくとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図るために設けられています。

病気やけが、事故の種類にかかわらず、医師や救急車が到着するまでに心掛けなければならぬことがあります。いざという時に落ち着いて対処することができるよう、

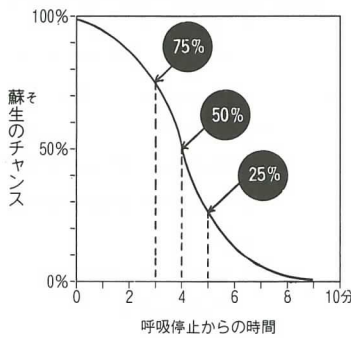
応急手当法をしっかりと身につけておきましょう。

人が倒れたら……

まず、冷静さを失わず、倒れている人がどんな状態か、落ち着いて正しく観察してください。

このことが適切な応急手当につながり、救急車が到着するまでに、どれだけ適切な応急手当がされたかが、

人工呼吸をするとどのくらい生命が救われるか



生死の分かれ目ともなるのです。

人口と世帯 (8月1日現在)	世帯 8,279世帯(△6)
人口 28,922人(△5)	◇7月中の移動◇
男 14,287人(+5)	転入 49人 (△48)
女 14,635人(△10)	出生 15人 (△8)
	転出 60人 (△31)
	死亡 9人 (△10)

()は、前月との比較

9月18日(第3日曜日)は「家庭の日」

「話し合い 心をつなぐ 明るい家庭」

- 望ましい家庭の在り方をみんなで話し合い、その実現に努めましょう。
- お隣りとの交わりを大事にし、絶えず言葉を掛け合ひましょう。

タライピアセンターの休館日

9月5. 12. 15. 19. 23. 26. 29日

開館時間：午前10時～午後6時

救急の日になんだパネル展示会

とき 9月3日～10日
ところ 文化会館2階展示室